

R18

カーヴェ×アルハイゼン

同居人
に

~~家賃~~

の代わりに

を
提供
して
もらったら

ママ
の
ちや
つた
話



家賃用のモラを
使い込んでしまった
カーヴェ

モラはない……！

だから
身体で支払おう
と思う

アルハイゼン

???

カーヴェがアルハイゼンのディルドになる話

君が
僕に隠れてアナニー
知っているのは
知っているんだ

しかも結構
エグイ
ディルドで

ちんぽに飢えて
いるんだろう!?

そこでだ！
ここに後腐れがなく
自由に使える
立派なちんぽがある！

これを提供
する事で家賃と
しようじゃないか！

言いたいことは
それで全部か？
却下だ

な…なんでだよ
お互い利益のある
完璧な提案だろ！

カーヴェ
少し考えれば
分かることだ

ここは俺の家だ
俺の家の自室で
自慰をするのに
君の許可は必要ない

君に俺の性的趣向を
伝える義務もない

そして俺は自慰で
十分満足しているから
君の陰茎はモラの
代替としては不十分だ

ぐぬうっ
一つずつ丁寧に
反論して来た

はあ……



そんな事言って
無関心なふりを
しているけど

本当は興味が
有るんじゃないか？

だが気難しい
君の相手をして
あげられるのなんて
僕くらいしかいない

これは取引材料に
なるはずだ！



自慢じゃないが
僕のものには
結構立派だぞ！

君の
エグイデイルドに
引けを取らない

検証の
価値はある！

気の迷いかと思ったが
なかなか引かないな
本気なのか？
正直興味はある

カーヴェの体格だと
大きさは期待
できないが

生ちゃんぽ…

確かに検証もせず
否定するのは
間違っている

今回は君のソレで
家賃の延滞料を
立て替えるでしょう

本当か！
よ…よし！



だが家賃は後日
モラで払って貰うぞ

次の給料は怪しい
チャリティーショップで
使い果たす前に持ち帰って
欲しいものだ

ぐぬ…

では

君は
陰茎を勃起させて
横になっしてくれ

俺が君の陰茎で
自慰をする間
君は動かないように

そ…っそれは
あまりにも
僕の人權を
無視し過ぎて
無いか!?

出来ないのか?
ならこの話は
無かった事に
しよう

俺は君と
セックスする
つもりはない
あくまで自慰だ

気が散るから
声も出さないでくれ

わ…分かったよ!やる!
ちんぽおっ立てて
君のデイルドになるよ

まったく…
もっと言葉を
優しく言えないのか
君ってやつは…っ

ではさっさと
使える様にしてくれ

わ…
分かったよ

…は?
でっか?

カ
ロ

「んんん」

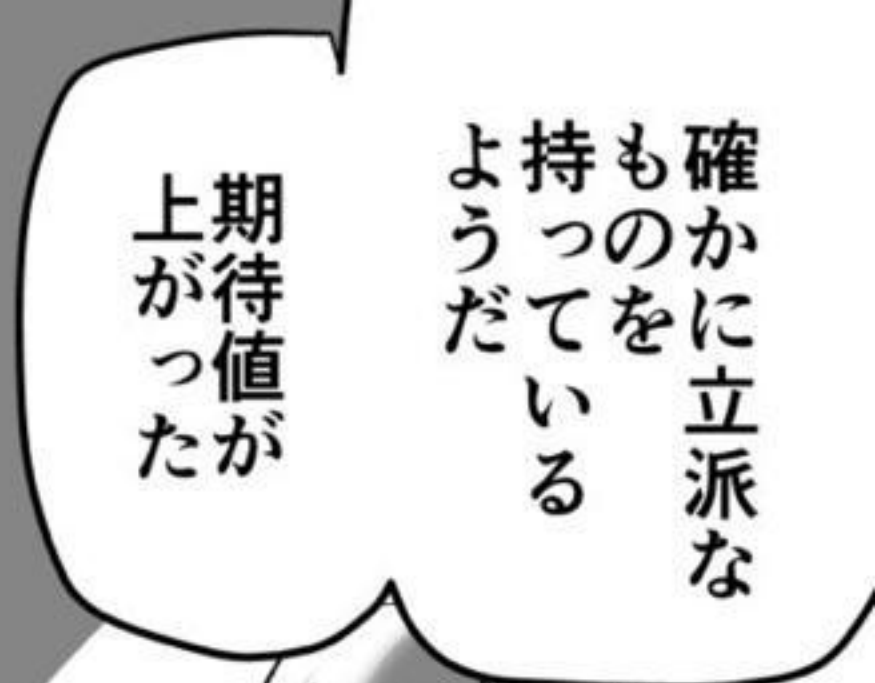
「コク…」



…えっ
何して

味見だ

味見!?



確かに立派な
ものを
持っている
ようだ
期待値が
上がった



問題れも?

君の立派なものを
勃起させる…ん♥
手伝いもかねているが

い…いやっ
続けて…っ♥



はは…君が僕を
褒めるなんて珍しい
…ん?



興味がないなんて
一言も言っていないが…
まあいい



味も
悪くない

はあ…ぐうっ♥
アルハイゼン…っ
ふ…っあ…
君…っ

大きさも硬さも
期待以上だな

やっぱりちんぽに
興味津々だった
んじゃないかっ♥

あ…あのさあ
アルハイゼン

そしたらもう少し
頑張れそう
なんだけど……

そ…即答…
ちんぽへの
意欲が凄いな

検証するなら
万全の状態
挑むべきだろう

フェラもいいけど
君のおっぱい…
触ってもいいかい？

日頃から興味
あったんだよね
このデカパイ

いいぞ

ムラ

わっ
わっ
わっ

君は自分の陰茎の
有用性を
証明しなければ
いけない立場だと
理解しているのか？

訳：早く勃たせろ

じゃあ
失礼して…
おお♡
柔らかい…っ

わ…分かってるさ
そのためにもしっかり
勃たせないとなっ

俺は胸は
感じないが…

カーヴェの気分を
盛り上げるために
触れるのなら
多少の演技が必要か…

ムチ♡
ムチ♡

ムラッ

ムチ…



自分では
こんな強く
しない...

乳首ぐりぐりっ
ぐりっ



あ...っ♡

ん?...何だ...?
いつもと違う

ふ...っ

むぎゅ♡

て...
て...

少し揉んだだけで
乳首勃起させてる
じゃないか♡

むぎゅ



あっ!♡あっ♡
こんな動き知らないっ

むぎゅ

むぎゅ



動きが予測不能...
自慰とは違いすぎる

いい反応だ
ちんぽに来る♡

はあー
この乳首くらい
普段から君が
素直だったら
最高なのに

1秒も黙っていられ
ないのか君は...

本気で感じているから
演技をしなくても
良いのは楽だが

むぎゅ

むぎゅ

むぎゅ



カーヴェが
暴走した時に
止められるかが
問題だ...

はいはい
黙りまー

ふふおっ

あ...ん...

はむっ

れるもっ

むぎゅ

むぎゅ

むぎゅ

んおっ!♡

熱くてねっとり
したものが
乳首を包んで

むぎゅ

むぎゅ

むぎゅ



お♡
お♡お♡
舌す♡い♡

は

甘く痺れる♡
なにか来る♡

あ

イク♡
乳首でメスイキ♡
イク♡イクツ♡



ほ…っ♡!!?
舌で乳首弾かれ…っ♡

ん♡お♡

は

ん♡お♡
ん♡お♡
ん♡お♡



口内の粘膜と
ぬとぬとした舌で
乳首舐め回されるの
たまらない…っ

う、
ぬいっ
ん…っ

れる



あ
あ
あ

イツグ♡

あ
あ

気持ち…いい…♡
これ…♡
気持ちいい…♡
もっ♡と…♡

あ

は
は

は…っ…っ

え…? もしかして君…
イったのか?
エッチ
だなく…



察しの通り
メスイキし
少し放心した
もう大丈夫だ

へー君でも
イクと馬鹿に
なるんだな

だが一番
気持ち良かった
舌の動きは自慰では
再現不可能だ
使えない経験だったな



君ってやつは…素直に
「また乳首舐めて
ください先輩♥」とか
言えないのか？

君に再度依頼するかは
この後の結果で検討する
陰茎の状態はどうだ？

ああ！
君の痴態のおかげで
バキバキだよ！

覚悟しろ
アルハイゼン！

気を抜くと
メスになる…っ♥♥

す…すごい…♥
バキバキの本物ちゃんぽ
絶対気持ちいい

あ♥…そうか
で…では横に…
な…ってくれ…



挿入中は俺に
触れるな
動くな
声を出すな

今から俺は
デイルドで
自慰をする

良いな

ついに初めての
生ちゃんぽ…♥

い…いかん落ち着かねば
カトヴェがいることを
忘れてはならない

そうだった…
僕はデイルド
なのだった…





ふりふりで熱くて...
いつものデイルドとは違う

こ...これが...
ちんぽ...

ん...♡

ん...♡

お...♡

ふ...っ



これ...は...
想定外だ...
良すぎる...♡

お...♡

こんな凄いいちんぽで
絶頂を味わったら
今後デイルドで
満足出来なくなる

俺の安定した
性活が破綻する
即刻中止するべきだ



早く抜かないと
まず...♡ 真っ...♡

あゝ…
アルハイゼン？
動かないのかい？

ほあ

君のナカ
熱くてとろとろで
気持ち良いけど
これじゃ生殺しだよ…

しゃ…喋るな
今俺は絶頂
している

ゴク

ゴク

ふ…っ

え？
先っぽ挿れた
だけで？

気が強いナルが
弱いつて言うけど
本当だったんだな

っはるにイキって
あんなに…
雑魚ナルなんだ？

はあっ

ブル

ブル

ふ…っ

はる

カーヴェが喋ると
振動が伝わって絶頂が
終わらない…っ

オ…

どんどん理性が
削られてちんぽから
離れがたくなる…っ

デイ…

ディルドは
喋るなっ

ムカツ

フン！
動けないというなら
手伝わってあげよう！
ディルドだからな！

はっ…待て…っ

おおっ♡おんっ

おっ♡おっ♡おおっ♡
イッてるのに♡
こんな♡すごい♡

おっ♡
ほっ♡

おっ♡
ほっ♡

自分の意思に反して
突かれていく♡
制御できない快感の暴力っ

はあ♡
アルハイゼンツ♡
君のナカきもち♡

く…っ
言い返したいのに
絶頂の度に
思考が止まって…っ

君もずっと
イッてるし
ははっ…僕たち
身体の相性
良いのかも♡

イッてる時は
君の皮肉も止まるし
ちんぽで黙らせ
てるって感じが
興奮するな♡



動けないんだろ
僕が上になるよ

せ…セックスに
なっちゃうけど

君もたくさん
気持ち良くなれる
ほうが良いだろ♡

深…っ♡♡♡

抵抗しようと
思えば
簡単に押し退け
られるが…
したくない…
このままカーヴェに
身を任せてみたい

抵抗しないって
ことは承諾って
ことだよね♡

いい子だね
ほら僕に
しがみついて

あま…♡
あま…♡

はっ

へ

おっ♡
んおっ♡

あ…♡

ミ…♡

ん♡

あ…♡
あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡
あ…♡



はあっ
アルハイゼン

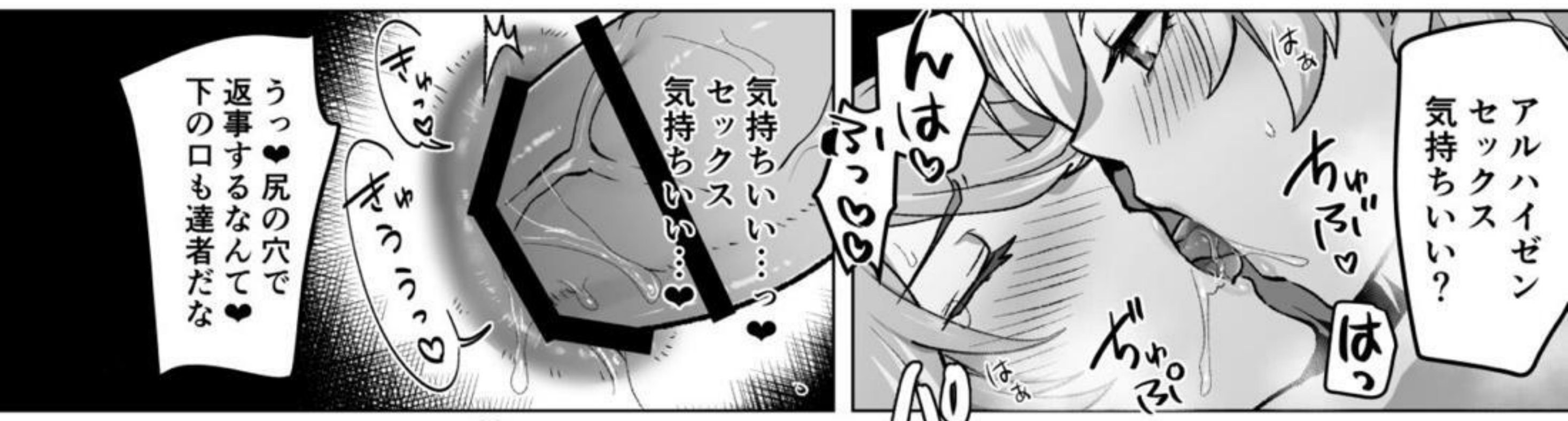
かわいいよ
アルハイゼン♡

カーヴェの肌が
密着して熱い…っ

こ…これが
セックス…

カッ
グッ

んお
ぐ



アルハイゼン
セックス
気持ちいい？

はっ
あっ

気持ちいい…っ
セックス
気持ちいい…っ

うっ♡尻の穴で
返事するなんて♡
下の口も達者だな



はああっ♡
いくよアルハイゼン♡
君の中で射精すからね♡

ぐんぐん

んお

んお
ぐんぐん



イク……!

ビク

ビク

カーヴェの
熱いイ♡

あゝい♡

んっ

メスになる♡
屈服するっ♡

あゝい♡

あゝい♡

メスの幸せ♡
頭と身体に
刻み込まれる

あゝい♡

あゝい♡

完全に身体が
カーヴェのちんぽを
覚えてしまった
想定外だ

カーヴェはいつも
俺の想定から
外れる結果を
もたらす男なのだった



検証結果だが…
君は勝手に
動いて喋っていた

ディルド
としての
評価は最低
だと言える

ええ!?!
あんなにヨがって
たのにつ

じゃあもう僕の
ちんぽは用無し…?!

そうは
言っていない



だから今後は
家賃として
セックスを
提供して貰う
これは確定事項だ

き…君ってやつは!
じゃあ最初から素直に
「またセックスして
ください先輩♥」
って言えよ!

何故?

何故じゃない!!

セックスは良かった
君の陰茎は素晴らしい

とても立派だ
誇って良い

えっ♥
あ…ありがと…

END



ボツ台詞たち供養ページ



君：凄いな
ほとんど根本まで
挿入っちゃった

僕のちんぽ全部
飲み込めるって
凄いや

君もだいぶ
気持ち良さそう
じゃないか

このまま
付き合っちゃおう?

俺が承諾したのは
自慰のサポートであって

セックス
じゃな...
オツ♡

このままでは
カーヴェの
メスになる♡
彼女にされる♡

お：俺は自慰が
したかったのに
だけ...

これじゃ...っ
ただ...の

彼のちんぽに
負けた時の事を
鮮明に思い出す

覚悟しろ
アルハイゼン

キスしながらの
正常位

ファーストキス
だったが：嫌悪感もなく
むしろ気持ち良かった

まるで女性のように
「可愛い」とささやかかれて
男として敗北……

ん……っ♡イク♡
カーヴェに敗北した
記憶で何度でもイける♡

……しかし
アナニーでどれだけ
イっても
今まで感じられた
充足感はなく

ちんぽに
焦がれる
気持ちが増すだけ

気乗りしないが
外に相手を探しに行くか

相手探しが
面倒だから
今まで自慰だけで
済ませていた

面倒を押して
でも今は
ちんぽが欲しい



アルハイゼン
出かけるのか？

酒場に
行くのなら
僕も一緒に…

また奢らせる気か？
飲みに行くわけじゃない
残念だったな

じゃあ何しに行くんだ？
夕飯はもう食べただろ

…ここで理由を説明すれば
カーヴェとセックスする
頻度を増やす
流れになるだろう
それは避けなければ

……



予備の陰茎を
確保しに行く

避け…

は？

ペキッ

え？
ちよっと待って
アナニーで満足
してたんだろ？

それに
月末には僕と
セックスする
じゃないか？

音が滑ったな…

次回の家賃
支払日まで
あと2週間
ある

自慰で満足
出来なくなっただけか？



だからって…
君がそんな
非効率な方法を
選択するとはね

君にセックスを
教えたのは誰だと
思ってるんだ？
シたいなら
まず僕に声を
かけるべきだ

君とのセックスは
家賃だからな

理由になつてないぞ
分割とかそういう
ことにすれば
いいじゃないか

分割にして君の体力が
持つのか？

俺は君とのセックスは
家賃と釣り合うほど
価値があると判断した
だが中途半端なセックスに
なるならその価値は
当然下がる

君とは濃厚な
セックスがしたい

はあ…アルハイゼン
君ってやつは…

君は見た目は多少…かなり…
美しいけどさ
ナンパがうまくいくとは思えないね

一般人と楽しい
おしゃべりなんて
出来るわけがない



万が一男を
引っかけられたとして
ベッドに入った相手が
君のデイルド以下の
モノだったら骨折り損だろ

行き当たり
ばったりなんて
君らしくない

それに…
君が求めているのは
ちんぽそのもの
じゃなく
僕とのセックス
だと思っけど？

だから尚更
まず僕に声をかけるべきだ
僕が断ったらその時
初めて外に出る選択肢を
考えればいい

そして僕の
答えはこうだ

家賃として
じゃなくとも
君がしたいときは
セックスに
応じる

その代価は…
そうだな

酒を奢って
くれれば良い

ふむ

想定通りの展開だが
この展開は
避けるべきものだった

自分の発言が制御
出来なかつたのは
性欲が溜まって
いるからだろう

一度スッキリさせて
今後の方針を
考え直すでしょう

…分かった
その条件で
今から依頼
しよう

よし！
交渉成立
だな



では俺は今から
君の機嫌を
取り続けないと
いけないのか？

一方的な要求だけ
通そうとするのは
協力と言えるのか？



さてじゃあまず
可愛くおねだりして
もらおうか

…この
分りきった
状況で？

アルハイゼン

今からするのは
セックスだぞ

セックスと
いうのは2人で
協力するものだ



君さっきまでナンパに
行こうとしてたんだろ
行きずりの相手なんて
一方的な要求しか
してこないぞ
そのてん僕は
機嫌を取ってもらったら
ちゃんとお返しする

ふむ…



媚び

気分を
盛り上げた方が
ちんぽの機嫌も
良くなるぞ

…カーヴェ先輩

俺の雑魚まんこに
カリ高立派ちゃんぽを
恵んでください

おお…
恐ろしく早い
掌返し

やる気になって
もらえて何よりだ

じゃあ君の大好きな
僕のちんぽ
自分で世話して
大きくして

君は俺の胸が
好きなんだろう
たっぷり
味わうと良い

トキ

ぬちゅ

ああ

これは次回の
君とのセックスで
使おうと思っていた
ものだが

とろろ

トキ

モイヤッ

ぬちゅ

はあ

ぬちゅ

はあ

グロ

グロ

はあ…相変わらず
凶悪なちんぽだ…♡

はああ…♡
おっぱいと
インナーが
ローションで
ぬちゅぬちゅに
なって
疑似パイズリ
に…!!

発言は全然
可愛くないけど
案外奉仕プレイ
好きだよね君

気持ち
いいよ♡



パイズリで乳首
こんな勃起させて

ちんぽ
美味しそうに
しゃぶって…

ん？待てよ

僕とのセックスの
ためにパイズリ
覚えてきたのか？
いじらしいじゃないか



足でされてるのに
ちんぽ離さないし…！

マジっけも
あるのか？

だえや君
なっつち
はて…！



……っ♡

触ってないのに
ちんぽも
ビンビンだし…

んっ♡ふっ♡

ふっ♡



んはっ

カーヴェに言葉で辱められるとゾクゾクする…この背中を駆け巡る感覚は…

カーヴェに敗北している想定でオナニーしている時の…

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

やっ

はっ

はっ



だが現実のカーヴェには簡単に負けるわけにはいかない…

特に今日は… 1度ハマて スッキリしたら 速やかに就寝する

ふう

ふう

うず

うず

めちよ



その…毎回事務的過ぎると萎えちゃうだろ？ 覚えてくれ

いいかい？ 今後は挿入の前にはまずキスでおねだりだ



準備は整った 早くハマろ

また君は そんな情緒のない表現を

アルハイゼン 言っただろう 僕の機嫌を取ってくれないと！

君の陰茎の機嫌は 取ったが はずだが

うーんつまり… えっちなムードを維持するんだ

き…きた…ちんぽ…
ずっと焦がれていた
カーヴェエのちんぽ

また挿入
したただけで
いったのか？

う…オ

ぜ…絶頂
して…っ
へへ

本当に君のアナルは
僕のちんぽに
メロメロなんだな
可愛いよ

ひ…おお

いくの落ち着くまで
待ってあげるよ

キスしながら
ゆっくり
動くからね

お…あ

キスしながらちんぽを
俺の穴に馴染ませるように
ぐりぐりされて

あつあつ…馴染むウ
カーヴェエのちんぽに
身体が馴染んでしまう

う…っ
ナカすごい
うねってる

イ…イク
挿入れただけで
イク…っ

は

は

は

は

んむう

んんん

気持ち良かったら
ちやんと気持ちいいって
言うんだよアルハイゼン

声に出すともっと
気持ち良くなるからね

こ…
こえ…っ

おん

おん

気持ち良くなるために
知らないちんぽ漁りに
行くこうとしてたんだろ？

ほら言っ
て
気持ちいい

んう♡き…気持ちいい♡
あああ♡
そこ♡気持ちいい♡

声に出すと
思考が止まる♡

うん
そうそう
いい子だ

気持ちいい♡
気持ちいい♡

セツクス
気持ちいい♡
カーヴエィ♡

そこ♡
おっおん♡

ちゅぽっ
ちゅぽっ

ちゅぽっ
ちゅぽっ

ちゅぽっ
ちゅぽっ

ほっ♡
おおん♡

セックス
してる時の君は
素直で可愛いから

いっぱい
甘やかして
あげたくなるな

ほらここ
良いだろ

ンギン

クリッ

クリッ

挿れたい

挿れたい

たん

クリッ

たん

クリッ

挿れたい

支配される

カーゲ

挿れたい

イけよ
君が望んだことだろ

クリッ

クリッ

他人に…
カーヴェエによって
与えられる
快感の暴力…っ

おっ♡
おっ♡

腰も動いてる
楽しんでるだろ

でも大人しく
足を開いて

本当に嫌なら
はね退けるはずだ
君の力なら可能だろ

イッ♡
んお♡
ほおお♡

ずっとこれを
望んでいた

理性を
削ぎ落とされ…

カーヴェエのメスに
墮ちる瞬間を…っ♡

カーヴェエ♡

う…あ♡
もっと…

やっぱりちよつと
マゾっけあるな君
そんなところも
可愛いよ♡

ほら
アルハイゼン

気持ちいいなら
ちやんと
声に出して

う...ん

ん

はっ

ふう

気持ち...いいっ

カーヴェ

君が二度と馬鹿げた
提案をしないように
バカみだいに気持ち良く
してあげるから

肉体的な
快感だけ
ではない...

心が
満ち足りて...
多幸感に
包まれる...っ

んっ♡僕もいくよ
アルハイゼン
中に出すよ!

うっ♡イク



はあ…
いっぱい出る♥
アルハイゼンの
ふわふわのアナルに
射精最高に気持ちいいよ

おれ…もオの
きもが…

優秀なオスのメスに
なるの…
幸せすぎる♥

おの

すべてが
ズンズンと良くなる…

もっと…
カーズ…

おの

おの

おの

おの

アルハイゼン
カーヴェに**完全敗北**

聞こえて
ない…か…

おっと…

アルハイゼン…
好きだよ…♡

はあ

はあ

ム
ム

ム
ム

はっ



幸せそうに失神してるな
欲求不満が解消できた
なら良いけど…

数カ月後
なんやかんやあって
2人は恋人になった
カーヴェ大勝利

恋愛音痴
アルハイゼンと
恋人になるのも
時間の問題…!!
未来は明るいぞ!



このまま
恋人みたいな
イチラブセックスの
作法を教えこんで

HAPPY END

ま…まさか
アルハイゼンが

ブルキ
ブルキ

はあ

ブルキ
ブルキ

はあ

ブルキ
ブルキ

はあ

ブルキ
ブルキ

ブルキ
ブルキ

ブルキ
ブルキ

あんな
エグいディルドで
アナニーを
しているなんて…っ

ひ…ひらめいた！

そして本文
冒頭に繋がる

アルハイゼンへの
アプローチ方法を
模索していた
カーヴェ

同居人に家賃の代わりにチンポを提供してもらったらハマっちゃった話

発行

2023/10/15

オルガムスラップ/いちのみるく

mail : 123os1919@gmail.com

印刷

ねこのしっぽ様

表紙文字配置デザイン協力

千夜イチヤ様

カーヴェとアルハイゼンという最高のキャラクターによって同人誌を作るパワーを貰いました。
スマール編大好き。原神という素晴らしいゲームに感謝。

この本を買って下さったあなたと、クリエイター支援サイトでご支援して下さった皆様に感謝いたします。

この本は非公式ファンブックです。
無断転載・複製・複写を禁止いたします。

ネットオークション、フリマへの出品はご遠慮ください。

Genshin Impact Unofficial fanbook